

計画にこだわりすぎない 柔軟な考え方で事業を展開



くどう みちひさ
工藤 道尚 さん

第1期生(平成20年度修了)

商号 モバイル・エコロジー(株)
創業日 平成21年10月1日
創業時の年齢 38歳
所在地 厚木市寿町2-6-16
電話番号 046-244-4949
事業内容 実測データを元にした、
燃費削減や環境負荷低減
に関するコンサルティング

トラックのバッテリー管理サービスを行っている工藤道尚さん。本業以外にも、ディーゼル車のDPF（ディーゼル微粒子除去装置）管理や、コンピュータのリソースの貸し出し等も手掛け、一つの事業にこだわらない姿勢がうかがえます。

お客様のメリットが見える化

主な事業は、運送会社等の配送車のバッテリーを管理するサービスです。バッテリートラブルによる配送遅延が起こると、賠償金請求等の損害が発生します。それらのリスクを防ぐため、弊社がバッテリーの状態を分析し、必要に応じてバッテリーを交換します。馴染みがないサービスなので、どれだけ効果があるのかについて、お客様毎に資料を提示し、納得してお使いいただいています。

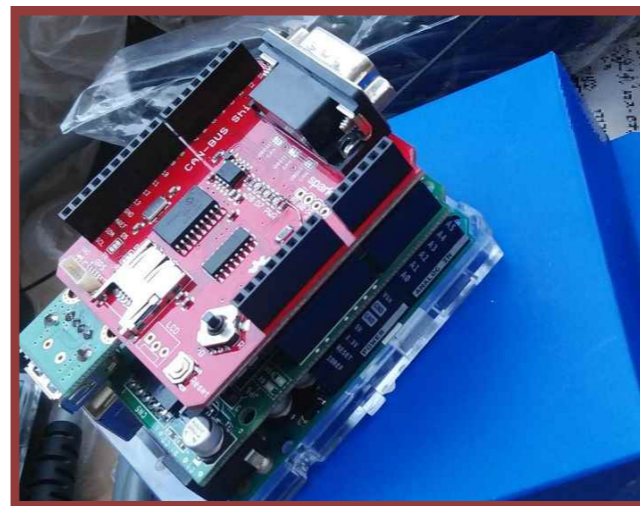
企業名に込められた想い

高校時代から起業を志望していましたが、起業のアイデアが固まらないまま、大学を卒業し、一般企業に勤めました。会社で北米に出張した際に、大型トレーラーの運転手が、一晩中エンジンをかけて生活しているのを見て、車中で生活するためのバッテリーを作れば、環境負荷も減るし、ビジネスになるのではないかと考えたのが起業のきっかけです。今では違った事業をしていますが、その想いは社名に込められており、移動体のエコを考えるという意味があります。

こだわらないことが こだわりかもしれません

起業時は、アイドリングストップ装置を販売していました。お客様が「アイドリングストップはバッテリーに負担がかかるのではないかと心配していたことから着想し、バッテリー管理サービスを始めました。

ちょうどその頃に、アイドリングストップ装置を作っていたメーカーが、装置の生産を停止したこともあり、今の事業に方向転換しました。せっかく起業しても、軌道に乗る前に事業が陳腐化したり、時流に適合できなかったりします。当初の計画にこだわり過ぎなかったことが、私は良かったと思います。



バッテリー管理デバイス



起業スクールの感想 起業後に苦労したこと

起業スクール受講時点では、事業計画はまだ固まっていませんでした。受講する中で、事業がビジネスとして成立するのか、本当にニーズがあるのかなど、考えをまとめることができました。

起業してから苦労したのは、とにかくお金です。創業後3年くらいはお金がなく、金融機関から受けた融資もすぐに無くなりました。その後、その金融機関の担当者の支援もあり、「ものづくり・商業・サービス革新補助金」が採択され、神奈川県の中企業等経営強化法に基づく経営革新計画にも承認されました。

起業を目指す方へ

私も何から手を付けてよいのかわかりませんでした。まずは、自分の得意なところを突き詰めて、後はお客様のためになることは何かを考えれば良いのではないのでしょうか。苦手なことは、得意な人にやらせれば良いのですから。

